

## 1 . 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年9月2日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673200079
法 人 名	社会福祉法人 正栄会
事 業 所 名	ふるさとの家 郡山
所 在 地	鹿児島県鹿児島市東俣町3853番地 (電 話) 099-298-8118
自己評価作成日	平成28年7月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年8月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・今年度の法人人材育成方針に則り、福祉職員としての原点に返り、福祉職員としての心構えや接遇マナー、後輩職員への指導の仕方など基本的な研修を行い、また、事業所ではより専門的な研修を行うことにより、職員の知識を高め、キャリアパスを導入し、働きやすく・働きがいのある職場つくりに努めている。
- ・入居者の方の要望を聞き入れながら、ドライブや梅取りなど、ホーム内にとどまらず外出の機会を作っている。
- ・敷地内の畑で作っている野菜を法人関連事業所の子供たちと収穫し、子供たちとの交流も図っている。
- ・地域の老人会に入会し、遠足や映画鑑賞会・そば打ち会などに参加し、地域住民の一員として生活できるようにしている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは自治会や老人会に加入し、花見や老人会の行事で薩摩藩英國留学生記念館などの遠足に参加したり、施設行事の敬老会・クリスマス会などには家族や地域住民の参加がある。児童の来訪、舞踊のボランティア受け入れなど、地域と良好な交流が行われている。
- ・協力医療機関や複数のかかりつけ医による受診や往診支援など連携が取れ、疾病的予防や早期発見に努め利用者が安心して暮らせるよう支援している。
- ・利用者の咀嚼機能や嚥下機能に合わせた食事形態に工夫を行い、利用者参加のそば打ち・あくまき・漬物などを手作りして楽しんでいる。
- ・職員の心構えや接遇研修・キャリアパス導入など職員のキャリアアップに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者一人ひとりがゆっくりとした生活が送れるような理念を掲げ、職員は理念に基づき実践している。	理念は玄関やホールに掲示して実践の中で確認している。全体会や職員会の時、日々のケアを話し合い、共通理解を図りながら、利用者のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民との防災訓練や地域作業に参加するなど、日常的に交流が保たれている。	自治会や老人会に加入し、地域の敬老会等に参加している。近隣とのあいさつの声かけや防災訓練に地域の積極的な協力がある。老人会と一緒に遠足やそば打ち会・映画鑑賞会など楽しんでいる。中学生が花の苗を届けてくれたり、子供たちと玉葱の収穫やあくまき作りの交流もある。ボランティアの踊り等の受け入れや地域で認知症センター養成講座を開いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	鹿児島市が行っている見守りメイトの受け入れ事業所となり、地域の方々へ認知症の理解を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所の活動報告や自己評価、実地指導の結果などを伝え、出席者の方々より意見をいただき、サービス向上に活かしている。	会議は2ヶ月毎に開催し、利用者の状況や行事・介護報酬改定・外部評価・研修会の報告等を行い、防災訓練の地域の協力関係や老人会・自治会役員との緊急連絡網の検討等、意見交換をしている。草刈のボランティアの申し入れもあり、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域ケア会議や委員会等を通じて担当者との連携を深めている。	市担当者とは、日頃から窓口に行つて相談やアドバイスをもらっている。地域包括支援センター主催の研修会には、資料作りの手伝いや事例研究発表をして事業所の実情や取組を伝えながら、協力関係を結んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修を行い、身体拘束の弊害等を学び、拘束をしないように意思を統一している。また、言葉による拘束がないように職員一同気を付けている。	身体拘束廃止委員会があり、マニュアルを作成している。年1回研修会を行い、拘束の対象になる行為を確認し、言葉の拘束にも気を付けている。昼間の玄関の施錠はしていない。外出したい利用者は職員が寄り添って同行し自由な暮らしに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	入浴等を通じて体にあざがないか確認している。また、入所者の表情などから異変を察し、職員に尋ねるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している方もいて理解している。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約は管理者・計画作成担当者が十分な説明を行っている。また、入居申し込み時は職員が説明できるようにしており、十分な対応ができるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	敬老会やクリスマス会など家族が訪問しやすい環境を作り、訪問時に要望や意見をいただくようになっている。	利用者からは日々の生活の中で希望や意見を聞いている。家族からは面会時やケアプランの承諾をもらう時・敬老会やクリスマス会等の行事参加時等、来訪の機会が多いので意見や要望を聞いていている。敬老会やクリスマス会の時の食事を、各居室でとるように改善したところ、ゆっくり話ができ、残食がなく、参加者も多くなった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議を通じて意見がないか確認する機会を作っている。	管理者は職員会議時や個別に意見を気軽に言えるように、日頃からコミュニケーションを取っている。出された要望や意見・提案は職員会議、ミーティングなどでも検討し、職員の意見で「おかゆをミキサー食に」「医療機関への受診が必要では」等、運営やケアに反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	キャリアアップなどの研修があり、職場の環境整備、やりがいができるようになっている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加する機会があり、職員の能力にあった研修に参加できている		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修に参加し、グループワークを通じて交流の機会をつくり、意見交換を行い、質向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者の思い（困っていること、不安なこと）に耳を傾け、安心して生活が送れるように心がけている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面談時で困りごと等を尋ね、共通理解ができるよう努めている。また、不安が軽減できるように支援していくことを伝えている。		
17	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族等が必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションのとりやすい方、とりにくい方の偏りがないように気を付け、対話を増やすようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者が望んでいることを家族に伝え、面会や外出ができるように働きかけている。			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔の話など繰り返し話をされたりすることも多いので、昔の事やなじみの人などを思い出し、笑っていることが多くなるように支援している。	馴染みの人や場は、入居時のアセスメントや日常の会話から把握している。昔馴染みの友人等の面会時にはお茶を出して、居室でゆっくり話している。職員と一緒に地域の行事や馴染みの店へ買い物に行ったり、家族と墓参に出かけている。		
21	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士のコミュニケーションが取れるように、スタッフが橋渡しをしたり、場を提供するなど、気配りをしながら支援している。			
22	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も家族からの相談を受けるなど関係が途絶えないようにしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>会話の中から利用者一人ひとりの思いや意向、希望などをくみ取り、把握できるように努めている。また、困難なことがあれば最良の方法を職員で検討している。</p>	<p>日常の会話・表情などから利用者の思いを推し測るようにしている。面会時の家族との会話等からも職員が共有し支援に当たっている。意思疎通が困難な場合は家族や関係者から情報収集し、職員で話し合い本人中心の支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時、本人や家族家族から聞き取りをしている。また、サービス機関から家族の同意を得て、可能な限り、情報を収集している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>支援経過などこまめに記入し、また目を通すことにより、心身の状態の変化を把握している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>モニタリングし、ご利用者の心身の状況をスタッフ間で話し合いでできている。話し合った結果を介護計画に反映している。</p>	<p>本人や家族の思いや意見を職員や関係者を交えながら話し合い介護計画に反映させている。モニタリングは3ヶ月毎、カンファレンスは6ヶ月毎にしている。変化があった時はその都度、現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日の様子や気になることを支援経過に記録して、介護計画の見直しに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	個別のニーズに対して、関連施設へ訪問し、趣味活動につなげたり、図書館や病院受診など柔軟に対応できるようにしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している</p>	老人会の遠足等地域行事に参加したり、図書館や買い物など、ホームにとどまることなく地域で楽しく過ごすことができるようになっている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居前からのかかりつけ医を主治医にもち、医師や看護師との連携を築きながら適切な医療環境を保っている。	本人や家族の希望を大切にしている。入居前からのかかりつけ医希望もあり、受診の時は家族が同行して連携をとっている。協力医の受診や歯科受診は職員が同行して、適切な医療を受けている。受診結果は家族にすぐ報告している。	

自己評価 外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	身体状況を把握し、看護師へ相談できる環境をつくる。		
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時はサマリーを提出または受け取り、GHでの生活がスムーズにできるように情報共有できるようにしている。		
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方についてはご家族と話し合いを行い、アセスメント表に記載している。重度化した場合はGHで行える支援等を説明し、本人・家族が望む最良の方法を支援する。	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に家族と話し合い、アセスメント表に記載している。アセスメントする中で、食事がとれなくなったり、症状が重度化した場合は、ホームでできる支援を十分説明して医療連携をとり、関連施設等、家族や本人の希望を取り入れ支援している。	
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急救手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	救急隊の方から心肺蘇生法や骨折時、窒息時の対応を学んでいます。また、外部研修等の研修に参加し知識を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対応法を職員が目に付くところへ掲示している。また、年2回地域の方の協力で防災訓練を行っている。	災害対策は、年2回夜間を想定して消防分遣隊の指導の下、地域住民の協力を得て避難場所、避難経路の確認、防災設備等、点検を行い、避難誘導・消火訓練も実施している。災害時の水や食料等の備蓄がある。防火管理者を中心に地震の対応も検討中である。備蓄に水や乾麺・レトルト食品等を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉かけを丁寧にし、誇りを傷つけないように声掛け対応をしている。</p>	<p>法人で年間計画をたて、マニュアルを作成し、人格の尊重とプライバシーの確保について、接遇やマナーなどの勉強会を実施している。ホームでも毎月、基礎的な研修をしている。今後、細分化した研修の予定である。トイレ誘導、入室の言葉かけ等、気配りして対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>行動や表情で察し、適切な声掛け対応を行い、希望に添えるようにしている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人になりたいときはどこで過ごしたいかを聞き、自分のペースで過ごすことができるようになっている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自分で着替えることができる方は自ら選択できるようにしている。着替えることができない方は、選択できるように働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食器を下げたり、食器洗いが一緒にできるようにしている。嗜好を聞き、おいしく食事ができるようにしている。	食事を楽しむことができるよう に、野菜の皮剥きや配膳・下膳・食器洗い等、一緒に行っている。誕生会には、好きな献立を用意、行事食は品数を増やしたり、献立の工夫をして楽しい食事にしている。家族と外食に出かける利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養の偏りがないように調理している。水分や食事量をチェックしている。嚥下障害がある方はとろみをつけるなどしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きを行い、誤嚥がないようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、都度の声掛け、誘導をしている。	個々のチェックシートを作成し、トイレでの排泄を基本としている。昼間は布パンツか尿取りパット・リハビリパンツで対応している。羞恥心や不安にも配慮して支援している。排便の対応には、オリゴ糖や水分補給にも気配りしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	オリゴ糖を飲み物に入れ、排泄がスムーズにあるようにしている。また、水分を多くとったり、運動をするなどしている。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決められているが、発汗や失禁時など柔軟に対応できるようにしている。	入浴は週2回以上行っている。失禁や発汗時は清潔保持のため柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には次の日や曜日をずらしたり、入浴剤を変えたりして対応している。羞恥心の緩和にも気配りして介助している。		
46	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の温度に気を付けながら快適に休息が取れるようにしている。			
47	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬一覧があり、用法や容量がわかるようにしている。薬の内容が変わったときは、申し送りノートに記載し、情報共有できるようにしている。			
48	○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の希望や楽しみにしていることを聞きながら、気分転換できるようにしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	老人会の遠足など普段いけないところに外出しているが、限られた方ばかりなので、本人の希望を聞きながら、外出の機会を増やしていくと思う。	その日の希望にそって、散歩や買い物に職員と出かけている。老人会の行事等で外出の機会も多く、薩摩藩英國留学生記念館等への遠足や映画鑑賞会・そば打ち会に参加したり、事業所からは、天文館・石橋公園等、出かけている。車椅子使用の利用者も、ワゴン車で遠方に出かけている。家族の協力で外食や墓参などの外出支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小口の所持金を預かり、希望するものを購入できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話は都度取り次いでいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内から外が見えるようになっているので季節の移り変わりなどを感じることができる。	フロアは明るく、木造の廊下や天井等、温もりがある。温度・湿度の管理が適切で心地よい。ソファーが設置され畳の部屋もある。七夕まつりの飾りやひまわりの折り紙細工などが壁に貼ってある。ウッドデッキは多目的に使用でき、季節の花を眺めて楽しみ、居心地よく過ごせる工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアや廊下等にソファーを設け、一人でゆっくり過ごしたいときはくつろげるようになっている。また、会話ができるように居場所の工夫などしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には昔なじみのものを家族にもってきていただき、心地よく過ごすことができるようになっている。	居室はベッドやエアコン・カーテンが設置されている。自宅から持ち込まれた、家族写真や時計・タンス・テレビ・鏡等があり、本人の作品の習字や塗り絵などが貼ってある。本人や家族と話し合い、好みの洋服や帽子・バッグが揃えられ、心が和むように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを設けて移動しやすいようにしている。また、車いすで移動しやすいように廊下は広くしている。		

## V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない